

# 会 議 録

第20回定例会

開会 令和8年3月12日

## 教育委員会会議録

- 1 開 会 令和8年3月12日 午前10時
- 2 閉 会 令和8年3月12日 午前11時55分
- 3 教育委員会出席者

教育長	中川 齊史
委員	島 隆寛
委員	横田 賢二
委員	糸井 恵理
委員	武田 國宏
委員	横田 恵理子
- 4 教育長及び委員以外の出席者

副教育長	松本 光裕
教育次長	海老名 正規
教育次長	眞相 秀也
教育政策課コンプライアンス推進室長	田上 裕之
教育DX推進課長	戎 弘人
教職員課長	井利元 裕哉
義務教育課長	長谷 彰彦
体育健康安全課長	國方 正一
生涯学習課長	新開 弓子
教育政策課長	地面 浩
教育政策課副課長	櫻木 大介

[開 会]

教育長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

教育長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

教育長 議案第79号、議案第80号、議案第81号、議案第84号、協議事項2、報告事項1及び報告事項2を非公開として差し支えないかを各委員に諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 そのように取り計らうこととし、議事に入ることを告げる。

《議案第73号 徳島県公立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画の策定について》

教育長 説明を求める。  
教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

横田(恵)委員：時間外在校等時間の推移を見ると、減少してはいるものの目標には達していない。留守番電話やデジタル採点システム、保護者への連絡のデジタル化等の取組は奏功していると感じる。今後、多様化・複雑化する課題に対応する教育相談の強化として、スクールカウンセラー等の外部人材の配置拡充について、予算を確保し優先的に進めてほしい。

教育政策課長：今回は県と全市町村教育委員会が共同で策定しており、好事例の横展開等により取組が更に加速すると考えている。外部人材の活用については、財源や人材確保の課題はあるが、教員が子供たちと向き合う時間を確保できるよう引き続き改善に向けて取り組んでいく。

武田委員：計画にある「服務監督教育委員会」とはどのようなものか。

教育政策課長：服務監督をする教育委員会のことである。例えば上板町の小中学校であれば、上板町教育委員会が服務監督をする立場にある。県立学校と市町村立学校で所管が異なるということである。

武田委員：働きやすさと働きがいを両立し、「質の高い教育を行う」とあるが、民間企業でも労働時間削減による生産性低下が課題となっている。労働時間を減らした中で、教育の質が担保されているかどうか重要であり、子供たちの伸ばすべき力を伸ばせないことになりかねない。教員の働きがいやエンゲージメントを数値的に評価し、質の担保を図るべきではないか。

教育政策課長：生産性の確保については、ICTの活用等による業務の効率化・適正化を進めるとともに、教員対象のアンケートで働きがいを把握していく。また、客観的な指標として、教育振興計画における全国学力・学習状況調査や全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果、生徒の進学状況等を勘案しつつ、取組を適時アップデートしていく。

糸井委員：働き方改革が進む中で、保護者や地域との関わり方やリズムも変わってくると思うが、そうした変化に対する保護者等への周知やサポートはどのように考えているか。

教育政策課長：保護者や地域への理解促進については、各学校・地域単位で行うとともに、全県統一の方向性として「教育長メッセージ」を発出し、理解や協力を求めていく準備をしている。

教育長：メッセージの中で、学校の対応時間等を明確に示すなど、保護者へ周知し理解を得るところからスタートしていきたいと考えている。

武田委員：教員の労働時間について、持ち帰って行う採点や教材研究の時間は労働時間にカウントするのか。

教育政策課長：前提として、持ち帰り業務はしないこととなっているため、労働時間には含まない。

武田委員：現実には、自身のスキルアップや翌日の授業の準備等で持ち帰り業務をしている教員もいる。自主的に行う業務は自己研鑽となり、労働時間には含まれないということか。これまではその境界線がはっきりしなかった。

教育長：持ち帰り業務の現状があることは把握している。教員の負担を減らすため、テストの採点等をサポートスタッフに依頼する仕組みも少しずつ増えている。各学校の状況を理解しつつ、持ち帰りをしなくても良い環境づくりを進めていきたい。

教育政策課長：着実に少しでも時間を減らせるよう、あらゆる方策で取り組んでいく。

教育長 議案第73号を原案通り決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第73号を原案通り決定する旨を告げる。

《議案第74号 徳島県教育委員会規則の形式を左横書きに改正する等の規則の制定について》

教育長 説明を求める。  
教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第74号を原案通り決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第74号を原案通り決定する旨を告げる。

《議案第75号 徳島県教育委員会訓令の形式を左横書きに改正する等の訓令の制定について》

教育長 説明を求める。  
教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第75号を原案通り決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第75号を原案通り決定する旨を告げる。

《議案第76号 徳島県教育委員会告示の形式を左横書きに改正する等の告示の制定について》

教育長 説明を求める。

教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第76号を原案通り決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第76号を原案通り決定する旨を告げる。

《議案第77号 徳島県教育委員会公文書管理規程の一部を改正する訓令について》

教育長 説明を求める。

教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第77号を原案通り決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第77号を原案通り決定する旨を告げる。

《議案第78号 表記の適正化に伴う関係規則の整理に関する規則の制定について》

教育長 説明を求める。

教育政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第78号を原案通り決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第78号を原案通り決定する旨を告げる。

《議案第82号 徳島県教育振興計画（第4期）の改善・見直しについて》

教育長 説明を求める。  
コンプライアンス推進室長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 議案第82号を原案通り決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第82号を原案通り決定する旨を告げる。

《議案第83号 徳島県学校教育情報化推進計画（第2期）策定について》

教育長 説明を求める。  
教育DX推進課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

島委員：コロナ禍の頃は学校によって通信が繋がらないなどの問題があったと思うが、現在のネットワーク環境についてはどのようになっているか。また、タブレット端末について、現在は問題ないという認識でよいか。

教育DX推進課長：ネットワーク環境については、昨年度すべての県立学校でネットワークアセスメントを実施した。その結果、アクセスポイント等にボトルネックがあることが判明したため、昨年度から大規模校・中規模校を優先して機器の交換を行っている。これにより大幅に改善されると考えているが、アクセスポイントの老朽化等もあるため、引き続き各校の状況を見ながら計画的に更新していく方針である。

島委員：タブレット端末に関しては、もう問題ない状況か。

教育DX推進課長：更新した端末に問題はない。

武田委員：資料の「今後の予定」欄に、本計画の進捗管理担当として「DXタスクフォース」の記載があるが、このDXタスクフォースとの関係性や役割について説明してほしい。

教育DX推進課長：DXタスクフォースは、教育におけるDX推進に向けた課題を検討する部会で、県GIGAスクール構想推進本部の実務者会議である。その時々課題について検討し、いただいた意見を施策等

に反映させる役割を担っている。

武田委員：構成メンバーについては、外部委員と教育関係者で構成とあるが、立ち上げの際からずっと同じメンバーで運営しているのか。

教育DX推進課長：メンバーについては、毎年度見直しを行っている。

武田委員：人数はどのくらいか。

教育DX推進課長：今年度は外部委員が3名おり、教育関係者を合わせて合計11名で構成している。

武田委員：教育委員会や現場からの意見を取り入れ、このDXタスクフォースと連携することによって、より良い環境構築ができていると解釈してよいか。

教育DX推進課長：良い環境構築ができている。

教育長 議案第83号を原案通り決定してよいかを諮る。

各委員 異議なし。

教育長 議案第83号を原案通り決定する旨を告げる。

《報告事項3 令和8年度とくしま競技力指定校事業の 카테고리変更について》

教育長 報告を求める。

体育健康安全課長 内容等を報告する。

〈質 疑〉

横田(賢)委員：トップ指定校とチャレンジ指定校では支給される金額はどのくらい異なるのか。

体育健康安全課長：全体予算としては1,098万円で、その中で強化費として各校に分配されている。チャレンジ指定校は、指導者養成や中学校との交流などを支援している。トップ指定校になると、さらに手厚く強化活動などに支援を行い、金額も多くなるような状況である。

《議案第85号 徳島県読書バリアフリー推進計画（第二期）策定について》

教育長 説明を求める。

生涯学習課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

横田(恵)委員：視覚障がい者等の読書環境に係る課題として、計画案に示されているとおり、点訳・音訳ボランティアの高齢化が進んでいる。前任校で放送部が音訳図書製作体験に参加させていただいた際、「どうすれば目の不自由な方に伝わるか」を自ら考え取り組む生徒の姿を見て、この活動は子供たちの学びにもつながると思った。また、こうした若い世代の活動は不足しているタイトル数を増やすことにも結びつくと考え。読書バリアフリーの認知度向上に向けても、若い世代への働きかけは有効である。県内には多くの読み聞かせグループが草の根活動として尽力されているが、高齢化により次世代につながりにくいことが課題であると伺っている。読書バリアフリーの取組に、ボランティアグループの力を借りることも可能であると思う。県内各地で活動している読書ボランティアグループの実態について、県としては現在どのように把握しているか。

生涯学習課長：読書ボランティアグループの実態については、毎年、把握をしており、各地に多くのボランティアグループが存在する。

教育長 議案第85号を原案通り決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第85号を原案通り決定する旨を告げる。

《協議事項1 令和9年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査要項について》

教育長 説明を求める。  
教職員課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし。

教育長 協議事項1を議案第86号として付議してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第86号を原案通り決定してよいかを諮る。  
各委員 異議なし。  
教育長 議案第86号を原案通り決定する旨を告げる。

[非公開]

《協議事項 2 令和 9 年度徳島県公立学校教員採用候補者選考審査「大学推薦  
(大学指定枠)」要項について》

《報告事項 1 人事異動（小・中学校副校長・教頭の異動）について》

《報告事項 2 服務上の措置の実施状況について》

《議案第 7 9 号 教職員の懲戒処分の方針の一部改正について》

《議案第 8 0 号 徳島県教育委員会行政組織規則及び徳島県教育委員会の権限  
に属する事務の教育長専決に関する規則の一部を改正する規則  
について》

《議案第 8 1 号 人事異動（事務局等課長級以上の行政職員の異動）について》

《議案第 8 4 号 令和 7 年度藍青賞（特例対象）の受賞者について》

[閉 会]

教育長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午前 1 1 時 5 5 分